

## < 3月第1例会 >

### ～フルート・アンダンテ演奏会～

副会長 佐伯一丸

日時：2016年3月17日（木）

19～21時

場所：西神戸YMCA、多目的ホール  
(3F)

演奏者：フルート・アンダンテ（6名）



フルート・アンダンテとは音楽好きな主婦の集まりで、フルートだけでなく電子鍵盤楽器、バイオリン、チェロ、打楽器も加わっての演奏ですが、今回で4回目の演奏会になりました。

前回の「ハワイの文化に触れ合う夕べ」（9月第1例会）開催の時と同じく、合計70名の方に参加していただきました。

演奏曲目はバラエティーに富んでいましたが、我々のよく知っている曲ばかりでした。

故郷、美しき青きドナウ、涙そうそう、神田川、セレナーデ、日本万葉集、夢をあきらめないで、太陽がいっぱい、ひこうき雲、ホームソングメドレーなど。

最後に全員の「花は咲く」「早春賦」の大合唱で終わりました。気取らない、リラックスした、楽しい演奏会でした。



出席者：フルートアンダンテ6名、ゲスト51名  
ワイズ関係（メン、メネット、コメット）13名

## < 4月第二例会報告 >

会長 野呂 隆

会議名：4月第二(事務)例会

日時：2016年4月7日(木曜)

19:00~20:30

場所：西神戸YMCA

出席者：佐伯、舘、達、丹家、中村、西田、野呂、

藤井(8名) ネット：なし



### 1. 報告事項

#### (1) 神戸YMCA主要行事日程

- ・5/8(日) 16:00~ 神戸YMCA創立130周年  
記念日礼拝(神戸教会)
- ・10/22(土) 学園都市YMCAワイワイまつり
- ・11/3(木) 第19回チャリティーラン

#### (2) 六甲部主要行事日程

- ・5/28(土) 14:00~17:00 次期準備役員会 賀川  
記念館
- ・7/30(土) 15:00~ 第一回評議会、ラッセホール
- ・11/12(土) 15:00~19:30 六甲部会、ラッセホール
- ・17年1~2月頃、YYフォーラム、場所未定
- ・17年4/15(土)15:00~ 第二回評議会、三宮新会館  
(予定)

#### (3) 次年度版ロスター用の記載事項チェックと、 クラブ役員・委員の選任

記載事項に変更のある者の訂正と、次年度のクラブ役員・委員の選任を、藤井次期会長が行った。

#### (4) 六甲部拡大役員会の開催

六甲部長より、下記の要領で行う旨の通知があった。

於：神戸YMCA 4/23(土) 16:00~、

対象者：六甲部役員、各クラブ会長

議題：次々期部長選任の件、また評議会の件

#### (5) NPO法人「ゆとり作業所」に寄付

同作業所の大本 誠事務局長が寄付要請のため来訪された。クラブ及び会員からそれぞれ毎年恒例の寄付をした。

#### (6) 4月第1例会 4/21(木) 予定

発達障害児を抱える人達を支援する団体代表の方の講演会。

テーマ：「母と息子とオーティズム~あれから5年、啓発活動を通して」

講師：佐伯比呂美(さえき ひろみ)氏

NPO法人「あっとオーティズム」理事長、

LIUB Japan 実行委員会委員長、世界自閉症啓発  
デー(WAAD) 日本実行委員会啓発委員

#### (7) 5月例会

・5/12(木) 事務例会(第2木曜に変更)

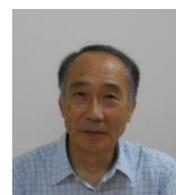
・5月第一例会 5/19(木) 講演

テーマ「歴史を変えた微生物」：微生物と人間社会のかかわりの歴史について、神戸学院大学薬学部(薬学博士)佐野圭二教授の講演。

## < 鹿児島から戻りました >

田辺征一 メン

熊本大地震の2日前に鹿児島から神戸に一応引き上げてきました。一応というのは、幼稚園の要請により理事・嘱託として残らざるを得なかったからです。



新こども・子育て支援制度への移行を進めた責任上、2年目である昨年度は、行政側との窓口として働いてきました。後任スタッフとの事務引き継ぎも十分にできなかったのも、しばらくはメールやskypeでインターネット通勤となりそうです。

熊本は熊本バンドの排出地としてキリストとのかかわりが古く、戦後間もなく始まったYMCA活動は着実に地域に根付いており、ワイズメンズクラブ活動も盛んで、地方都市としては珍しく多くのクラブがあります。そのうちのひとつである熊本クラブは鹿児島クラブの親クラブでした。鹿児島在住中は九州支部総会や役員会などで毎年1回以上は熊本を訪問したので、知り合いも多く、このたびの震災で皆さんどうされているのか心配しています。

神戸に居を移して一年足らずで鹿児島へ飛びましたので、神戸のことはよくわかっていません。ほとんど新参者ですので、今後ともよろしく願いいたします。

## <根岸理恵さんの神戸ライブ>

杉本隆人 メン

学園都市ワイズの元会員だった  
根岸理恵さん(3人グループ)の  
ライブが3月26日(土)  
18:30~20:10 神戸三ノ宮のBack



Beatで開催されました。狭い会場が40名を越える観客で満席状態となり、2年ぶりのライブを皆なで楽しみました。

根岸さんが、上京してから丸2年を経過し、路上ライブしながらも、確実にプロデビューをめざして活動されており、一段とたくましくなり、歌唱力もついてきたように感じました。

学園からは、野呂会長、中村さん、佐伯さん、檜木さんと私の5名が参加しました。ライブ終了後は、少し根岸さんとお話しをした後、5名でライブ近くの居酒屋で打ち上げをして、楽しいひと時を共に過ごしました。



## <今月の聖句>

御心のままに

マタイ 26~39

この言葉は、イエスがご受難に遭われる直前、ゲッセマネの園で夜通し祈っているときに発せられた祈りの言葉です。

イエスは、これから先自分がどれほどの苦しみを受けねばならないかをご存じでした。

「わたしは死ぬばかりに悲しい。ここを離れず、わたしとともに目を覚まして祈っていなさい」とペトロとヤコブに言い、彼らと少し離れたところで血の汗を流すほどの苦痛をとめないながら祈りました。

神でありながらイエスは、苦痛も悲しみも感じる人間性をもっていました。

できればこの苦しみの極みを避けたいと、人間ならだれでももつ感情を、イエスは吐露し願ったのです。

しかし、自分の願いどおりではなく、天の父の御心が行われるようにと、付け加えるのを忘れませんでした。

わたしたちも、神に自分の願いを頼むのですが、かなえられないときがあります。

それは多くの場合、自分の願いが神さまの御心にかなわないときでしょう。

神さまは、たとえわたしたちが苦しんでも、病に倒れても、傷ついても、御心を実行されるときがあります。

神さまは常にわたしたちの幸福を考えておられます。

わたしたちの願う一時的な幸福ではなく、永遠の幸福を与えたいと願っていらっしゃるのです。

~教養として知っておきたい聖書の名句(中井俊巳、グラフ社)より~